

教 育 新 聞

第35回全国協同(ハズ)学習研究大会

J-ISSNの理事を英語、歌、ダンスを一体移している。『英会話たいそう』はただ、体を動かして楽しむ全国の小学校で「大ブーム」というものではない。英語学習ではまず、



の習得を目的とし、最新 富で多様性のある教材、Advantageの教授法と豊富なマルチメディア教材で、効果的な学習を表現する。また、教師が授業に合



問題を出し合いグループ全員で解く

■少人数とT・Tで3200円の商品を買うにはどのように支払うたらよいか、模擬の1000円札と100円玉を使って一斉授業を行う。次は、隣の席の子とペアを組み、1000円玉で支払うには何個必要かを学習させる。

ペア学習などで助けあう

◆愛知県犬山市立楽田小学校◆

これは、愛知県犬山市立楽田小学校(有本高野校長、児童数688人)で1月20日に開催された

授業では続いて、児童を「お店屋さん」と「お客様」に分け、買い物客を真似た学習させた。そして、その日の学習を4人1組のグループに分け、計算問題を行わせ

000までの数」の第4時で、1クラス31人を2分した。同単元は、全9時間で第1時と第9時をT・T、第2時と第8時を少人数授業として

されている。算数科は、1〜3年では主にクラスを2分割した少人数授業を行い、学年に1人、市採用の非常勤講師がいて、4〜6年は原採用の非常勤講師をあて、各

学年の学級数に1クラスをクラスした教員に学年を分割している。この日、授業を指導した非常勤講師の岩田裕美先生は、ペア学習やグループ学習を行った感想を「学習は自分だけではいい、というものはない。ペア学習では隣の子を、グループ学習ではグループの子を助けるということをして、子供たちが率先して行っている」と述べる。

犬山市立楽田小学校 教頭 高野 有本

犬山市立楽田小学校 校長 高野 有本

が、今、私たちが学校でやらなければならないことは、協同学習がいつて

山市教委指導主幹を務める中京大学の杉江修治教授が、授業の基本について「教師が子供の学習環境をいかに創っていくかが大切。そして、子供が自ら学ぶというのが基本的な働き」協同は

人間の生き方の原理であり、そうであるならば、学習指導の原理でもあるはずだ」と話した。

大会の開催行事で有本校長は「学校の主人公は子供。学校の教育活動の中心は子供。また、全国協同(ハズ)学習研究会の長尾秀孝愛知県春日井市立南城中学校長は、「子供にまつわるいろいろな問題が起きてい

大会のまとめでは「ペア学習」の研究者で、犬

基本的な働き」協同は

犬山市立楽田小学校

犬山市立楽田小学校